

■平賀元義 歌人、国学者。万葉の世界に憧れ、諸国を放浪し、奔放奇行。正岡子規が称揚。

ひらがもとよし

伊能測量始・1800= 備中国下道郡穂北郷陶村の母の実家で、岡山藩中老勘解由の家老職平尾長春の子に生まれる。  
宣長没・・・1801= 1歳：嫡子となる。

ペノワ来航・ 1804= 4歳：弟源五郎が誕生。

幼時から記憶力に優れて周囲を驚かせ、

浮世風呂・・・1809= 9歳：

高田屋拿捕・1812=12歳：岡山藩の師範家馬場氏(太刀)及び牧野氏(弓)に入門。

浮世床・・・1813=13歳：岡山藩校に入学。

後楽園での御前試合で模範演技するほど武芸に励み、  
病身の父の補佐役を勤め、

伊能測量終・1816=16歳：元服。

杉田玄白没・1817=17歳：岡山藩士斎藤直興と馴染みとなり、岡山藩士香川清左衛門最長の歌会に出る。

水野忠成老中1818=18歳：父の兵学の師岡山藩士小林九郎大夫圓の娘と結婚するも、

群書類従完結1819=19歳：すぐ離縁、何らかの家庭の事情があったのか、

・・・・・・1820=20歳：同志を集めて「日本書紀」の講義を始めるとともに、病気理由に致仕し、弟が嫡子となる。  
蝦夷地直轄終1821=21歳：寢谷郡の足高神社に参詣するが、  
なお、武芸に励み続け、

シボル鳴滝塾1824=24歳：弟源五郎が家督を相続し、自らは祖母の実家興津家の厄介人となり、興津新吉藤原直元と名乗り、

・・・・・・1826=26歳：岡山藩校において和漢書六十六部を閲覧。

日本外史・・・1827=27歳：父が死去。

シボル事件・1828=28歳：

この間、興津家の奉公人の無礼を咎めて手討ちにする事件を起すも、正当防衛が認められる。

富嶽三十六景1831=31歳：正月、児島郡に遊び、下津井・田土浦・木見等で歌を詠む。

鼠小僧磔・・・1832=32歳：弟が主家の命を拒む事件を起して、岡山退去となつたのに連坐し、脱藩して、平賀七藏を名乗る。  
天保大飢饉始1833=33歳：備中笠岡の神主小寺清之を訪ねた後、\*自由の身を満喫、大旅行に出、出雲大社・熊野大社に詣で、

滑稽+人情本 1835=35歳：備前一ノ宮の社家大守家の食客となり、

・・・・・・1836=36歳：

大塩平八郎乱1837=37歳：「出雲風土記考」を著し、

適塾オーブン。1838=38歳：「太平記」40巻、

蛮社の獄・・・1839=39歳：「万葉集」(巻七・十)、

勧進帳初演・1840=40歳：「古武鑑」、

天保改革始・1841=41歳：「蕉雨園集」、

天保改革弾圧1842=42歳：「堀川院百首」「千五百番歌合」と、次々抄し、

順天堂始・・・1843=43歳：足高神社の碑文撰定に着手、讃岐国へ遊んで、

天保改革終・1844=44歳：碑文完成させた後、一ノ宮の社家を出、美作方面に足を延ばし、

阿部正弘首座1845=45歳：上洛。

孝明天皇・・・1846=46歳：備前北島神社の業合大枝を訪ねる。

・・・・・・1847=47歳：「にひまなび」を抄する。

・・・・・・1848=48歳：\*門人も出てきたことから、備前石淵鷗神社神主長浜氏の次女と再婚し、長浜家に同居。入門してきた美作の代々庄屋を務める豪農矢吹林太郎を訪ね、以後、経済的支援を受ける。

国定忠治磔・1850=50歳：長男源大が誕生。

尊徳報徳論・1851=51歳：病気の母を見舞うべく上洛するも、母が死去。

万次郎帰国・1852=52歳：「山陽道名所考」(美作巻)を完成。「吉備国歌集」を抄する。

ペリー来航・1853=53歳：

開国開港・・・1854=54歳：ペリー来航の外圧に、「具足着用の歌」7首や「神官めざまし草」を著して自覚を促す。

この間、美作を中心に、門人の家を渡り歩いて講義してきたが、

松下村塾・・・1856=56歳：「蔵書目録」を記す。

著書調所・・・1857=57歳：門人矢吹林太郎の支援で、(樋之舎塾)を創設し、「山陽道名所考」(美作巻)を刊行するなどしたが、

安政の大獄・1859=59歳：早くも行き詰まって、(樋之舎塾)を閉鎖。以後、しばらく矢吹家に居候。

桜田門外変・1860=60歳：

生麦事件・・・1862=62歳：「古事記伝」を抄する。

8月18日政変 1863=63歳：\*尊皇攘夷運動が最高潮となるなか、岡山藩で神官中心に「社軍隊」が結成され、多くの門人が入隊し、彼らを中心、自らの帰藩運動運動が起こり、藩でも見直そうとした矢先、

薩摩藩士密航1865=65歳：\*「自筆年譜」を記した後、門人宅に赴く途中、脳卒中で倒れ、没した。